

資源としての文化

第12回

福田一史

大阪国際工科専門職大学

<https://scrapbox.io/fukudakz/資源としての文化>



図. 講義ウェブサイトリンク (QRコード)
※LMSの資料のページにもリンクがあります

授業計画

回次	タイトル
1	ガイダンス・文化資源の定義
2-3	文化資源研究の系譜と基礎概念
4-6	デジタルアーカイブ
7-9	メタデータ
10-12	文化資源データの分析
13-14	事例研究
15	総括

コンテンツ

1. テキストマイニングによる文化資源データ分析（続き）

テキストマイニング による文化資源データ分析

課題提出まで

演習（テキストマイニング）のスケジュール

第10回講義

- テーマ設定・分析ファイル作成

第11回講義

- KH Coderインストール・分析・テーマ見直し・分析用ファイルの再作成

第12回講義

- 再分析・レポート（課題）作成と提出

演習

- 「演習ファイル.docx」を完成させ、提出する。
- 同ファイルのコンテンツは下記：
 1. 分析のテーマ
 - 分析するテキストファイル自体のテーマ（例えば小説であればその小説のテーマは不可）ではなく、そのファイルを対象とするあなたの分析のテーマを示す。
 - e.g. 「舞姫」に見るラブロマンスとそれを構成する用語の分析
 2. 分析対象となる日本語テキストデータの出所と分量
 - テキストデータの取得元（典型的にはURL）と分量（文字数）を示す
 3. KH Coderでの分析結果（図表）
 - 4. の議論の根拠となる図表を貼り付けて示す（分析に関連のない画像は用いない）
 4. テキストマイニングをして明らかになったこと
 - 1. のテーマに基づき分析を通じて明らかになったことを記述する

演習

3. KH Coderでの分析結果（図表）

- KH Coderの図表は、画面下部（右下）の「保存」ボタンから画像ファイルとして保存できる。
- 保存したデータをドラッグ&ドロップ、もしくはMS Wordの「挿入」>「画像」>「このデバイス」から画像を参照することで文書内に表示できる。

演習

4. テキストマイニングをして明らかになったこと

- ここでは、マイニングをして作成した図や表からわかったことを記述する。
- また、4. のなかでは**含意**と**課題**を、後半に記述してください。
- 含意とは、この分析でわかったことに**どんな意味があるか**、ということ。なぜこの分析をしたのか、**より大きな論点へのつながり**を示してください。
- また、課題とは、含意で議論した大きな論点を**より明確にするためにすべき今後の仕事**のこと。

演習

- 作成した演習ファイルはLMSの「課題」から提出のこと
- **！！課題！！**
 - （提出しないと単位取れない）